

2019

# JAしまねびより

# 1

January Vol.34

**特集** 島根のいいもの再発見!! 「津和野町 榎(さかき)」 西いわみ地区本部

来月の外勤日は 2/20(水)・21(木)



大鷲谷榎成神社  
の賑わい(津和野)

kanichi

JALまね 石見銀山地区本部版





# 謹賀新年

皆様のご健康と

ご多幸と

心よりお祈り

申し上げます

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同



新年あけましておめでとうございませす。

組合員の皆様には、新しい年を穏やかに迎えることとお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたのも、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の大雪や4月の地震、7月の豪雨や9月から10月の台風被害など、県内でも多くの被害が発生いたしました。被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、今後も復興に向けたご支援をさせていただきますと思います。

事業運営につきましては、「第1次中期経営計画」と「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、前年に引き続き「儲かる農業の実現」を念頭に、自己改革の3本柱である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重要課題として、取り組んで参りました。

営農関係では、新設した販売戦略室により、品目横断的に販路開拓に努め、新しい商品企画や輸出や都市圏での販売など、販売を起点としたものづくりを進めました。また、米については生産調整の

見直し初年度を迎えるなかで、事前契約比率の向上を重点的に進め、畜産では県央畜産総合センターや隠岐地区の二つの市場整備など、基盤強化の取り組みも着実に進めているほか、担い手育成や経営指導にも力を入れました。

地域の活性化では、地区本部を核として女性組織、青年組織等と連携を図りながら、食と農を基軸としたくらしの活動に取り組み、各地域でJA・支店まつりや組合員セミナー、農業体験、生活文化教室などを開催し、多くの組合員・地域の皆様に参加していただく機会づくりに努めました。

また一方で、「運営体制改革」「事業改革」についても最重要課題と位置付けて取り組み、昨年11月に開催した臨時総代会では、次の役員改選から理事数を現行の65人から40人とし、このうち常勤理事を33人から17人に、非常勤理事は32人から23人に、監事を9人から6人に削減する役員体制と、運営委員会の再構築と強化を含む新しい運営体制に関する議案をご承認いただきました。今後は車の両輪としての事業改革を早急に進め、一層の統合メリットの発揮、効率化を進め、組合員の皆様への還元に努めて参りたいと考えております。

さて、本年は現在策定を進めている「第2次中期経営計画」と「第2次農業戦略実践3カ年計画」の初年度となりますが、農業やJAを取り巻く環境は日欧EPA、TPP11の発効、米国とのTAGなど大変厳しい中での計画となります。そのうえ、5月には「農協改革集中推進期間」の期限が到来します。政府はJAの自己改革の実施状況等を調査し、その結果次第では信用・共済事業の分離や准組合員の事業利用規制を視野に、更なる農協改革圧力を強める懸念もあり、JAは重要な局面を迎えます。

このように大変厳しい経営環境の中ではありますが、今後も組合員の皆様との話し合いの機会を多く設け、いただいたご意見を事業に活かす、皆様から選ばれて、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員、地域の皆様にとりまして、本年が幸多い一年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年1月

代表理事組合長 竹下 正幸



島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいものの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

## 【津和野町 榊(さかき)】

1月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、神事や神棚に使う榊の栽培に取り組む、商人(あきんど)榊生産組合長の田中幸一さんにお話しをお伺いしてきました。



雨の中、榊が育つ山の中で色々とお話をいただきました。

### 榊を栽培するきっかけを教えてください。

昭和48年、20歳の時、荒茶生産の専業農家として経営を引き継ぎました。旧日原町の商人(あきんど)集落は中国山地の山あいであり、ほとんどが森林で平坦な農用地は1パーセント未満と農業が不利な中山間地です。当時から高齢化が進み人口は減少、何とかしなければならぬと何度か集落で話し合いました。地区にたくさんあるものは、広大な里山と高齢者の労働力。掛け算の原理でこのたくさんあるもの同士を掛け合わせることであればより大きな核となる、すなわち新たな核となる特産品を創り出すことができます。里山を活用できるものには何があるのか。集落で出した答えは榊でした。榊なら広大な里山を農用地として見立てることができ、稲作のようにコンバインなど機械を乗り回す必要がない。ハサミとカゴのみで高齢者が無理なく作業できる。当時は山に自生する榊を切り取って販売する人はいましたが、計画的に植栽し栽培ものとして生産している人はいませんでした。それならば、一大産地化を目指し農家全員で取り組もうと平成元年に集落の全21世帯(2世帯は非農家)のうち、19戸で「商人榊生産組合」を設立。短期的にはタラの芽などの山菜、長期的には榊をと、平成生まれの特産品を作っていくと動きだしました。第1次に6.8ha、その後2、3次と造成し最終的には8ha弱の面積で約3万本を植栽し生産を開始しました。



商人地区、急峻な中国山地の谷間に里山の暮らしを見せてくれます。

### 榊の栽培や収穫はどのようにするのですか？

ハシゴを使って収穫する必要があるようになるべく樹高を低く仕立てます。樹齢5年辺りから収穫できるようになり、ハサミを持ち、カゴを背負って山で枝を収穫していきます。持ち戻った枝は葉の汚れなどを洗浄した後、虫食いや葉の形が悪いもの、欠けているものなどを見極め、綺麗な枝ぶりのものだけに振り分けます。大きさは枝ぶりなどで5種類くらいに分け神棚等に立てる



これまでの大変だったことや苦労してきただことありませんか？

最初の数年は在来種の榊を里山に降ろそうとスコップな

前提で高さ30cm、底辺が25cmの2等辺三角形になるように数本を束ねた後、水揚げ・保水処理を行い出荷します。益田市と浜田市のほか、広島市の市場に出荷しています。



より良い商品にという想いが、市場に評価される高い品質を保つ秘訣につながっている。



タイムスリップしたかのような風景も、様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



作業しやすいよう整備された里山に榊が立ち並び。近いからこそ手入れが行き届き、その努力と時間が立派な畑に。

ど持って苗を探して山奥まで取りに行っていました。先端の細かい毛細根まできちんと取らなければならず、重労働かつ効率が悪く「これじゃだめだ」と痛感しました。そこで種苗会社4、5社から数種の苗木を取り寄せ、それぞれの世帯で東西南北や日照時間の違う条件で榊を植えて品種を比較、集落に合った榊を選び栽培をはじめました。先進地で勉強する機会がもてないため、栽培方法から病気や害虫の種類や対策まで試行錯誤を繰り返しながらこれまで行ってきました。幸い、榊はお茶と同じツバキ科の植物だったので親しみが有り、これまでの経験が生かせる時がありました。榊の生産は今年で30年目になりますが、生産者全員の頭の中にあつた知識を体系化した栽培マニュアルは、近年になってようやく新規生産者に渡せるようになりました。大変な作業の1つには、点在する榊の場所まで肥料を持って行き散布するのが労力を要します。

### 市場での評価はいかがですか？

しっかりと肥培管理しているので葉の色ツヤがよく、加えて日持ちが良いと高く評価をいただいています。お客様の中には水に入れていたら発根したという人がいるほど、鮮度や品質にはこだわっています。近年は外国産の榊が多く出回っており、品質が極めて高い国産の榊を求めて花屋さんをはじめ、全国の市場から訪ねていらっしやいます。生産量に限りがあるため需要に対して供給が追いついていないのが現状です。

### 今後の抱負や展望を聞かせてください。

市場からの引き合いはたくさんあるので、生産量をまだまだ拡大しなければならぬと考えています。平成24年には津和野町全域、平成27年に

## 榊 (さかき) 一口メモ

「木」に「神」と書いて榊(さかき)。神道で古くから関わりがあるとされる常緑樹で、常に生い茂っている木のため「栄木(さかき)」、神と人との境界を示す意味もある「境木(さかいき)」というのが語源とされる。毎月1日と15日に神棚の榊を変える習慣のほか盆や正月、お彼岸等の特需など、1年を通して安定的な需要があることから、集落では年150万円前後の収入が見込める副職として榊の生産を積極的に勧めている。商人地区での榊栽培の最高齢者は88歳と91歳の夫婦がいるほか、近年に参入した20代の生産者が出荷量を増やすなど、個人の状況やライフスタイルに合わせて榊生産を有効に活用するデザインが注目を浴びている。



「凜とした」という表現が正しいかどうかは別として、こんな綺麗で立派な榊を見るのは正直初めてでした。「本物」という言葉がふさわしい。



田中組合長(左)と研修生の中川峰さん(右) 中川さんをはじめとした若手が商人イズムの継承者として榊栽培に取り組みだしている。

農と合わせて副職として榊の栽培を勧めています。私自身は6年前に荒茶の生産を辞め、山菜と榊の生産に切り替えました。限界集落といわれた商人地区は昔からチャレンジ精神が旺盛な土地柄です。変わりゆく時代に柔軟に対応し、地域の農業が途絶えないよう努力を続けています。



# チャレンジ / 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

## JAは地域の活性化に取り組んでいます！

JAは農業だけではなく、JAならではの取り組みで「地域の活性化」に貢献しています。

### 〔食農教育〕▶▶▶▶

代表的なものに「食農教育」があります。子どもたちはもちろん大人にも、「食べる」という行為そのものだけでなく、その背景にある「いのち」や農業の果たす役割をお伝えすることに大きな特徴があります。農業体験学習などを通じて、土に触れる楽しさや収穫の喜びを味わうだけでなく、農家の苦勞を知り、自分の住む地域の魅力や地産地消の意味を学ぶ絶好の機会になっています。



ホームページで TVCM  
「愛菜カレー」編を公開中！



### ◀◀◀◀ [JA女性部活動]

女性部の活動も、食と農を通じて地域を元気にする取り組みにつながっています。各地域の伝統料理を学び伝える講座や、健康教室、趣味のサークルなど幅広く活動しています。また、一般教養や料理講座などを年間のカリキュラムで学ぶ「JA女子大学」も人気で、若い女性を中心に生き生きと活動しています。

元気な女性たちが、多方面の活動に加わることで地域に活力が生まれ、活性化につながっています。

## 理事会情報 (11月29日開催)



- 協議事項
- ① 平成30年度しまね農業生き生きプランの承認について
  - ② 第2次農業戦略実践3カ年営農計画(2019~2021年)の策定について
  - ③ 信用事業にかかる平成31年度からの事業運営モデルの選択について
  - ④ 平成30年度末決算見込み(1次)について
  - ⑤ JAしまね中間期ディスクロージャー誌2018の作成について
  - ⑥ 次期中期経営計画(2019~2021年度)策定の進め方について
  - ⑦ 役員選考について
  - ⑧ 年間所定内労働時間の統一について
- (紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)



# 地区本部トピックス

雲南

## 飯南町無人航空機運営協議会 ドローン免許新たに4人取得し体制強化

飯石郡飯南町にある同町無人航空機運営協議会は、無人ヘリコプターやドローンを使った水田防除に取り組んでいます。12月10日から14日に行われた免許講習会では、農業用マルチローター（ドローン）の技術認定証を新たに4人が取得し、来シーズンに向けて体制を強化しました。

今年7月に同協議会のメンバーでもある松江市の株式会社SWIFTが、県内初の農林水産航空協会認定の教習所、整備事業所として認定されたことを受け、分校開催として同町で講習会を開きました。

今年は町全体と雲南市の一部、約900㍍で散布。高齢化が進み防除面積が年々増加する中、作業者の負担を軽減するために拡充を図りました。

来年はヘリとドローンの免許取得者16人で作業を進めていく予定です。新たに免許を取得した同町の藤原翔太さん（20）は「地域の皆さんの力になれるよう頑張りたい」と意気込みます。



免許講習会でドローンを操作する藤原さん

くにびき

## 店舗のイメージや窓口の対応、 職員の身だしなみを競う 美粧化コンクール実施

くにびき地区本部は12月6日、支店・店を巡回し、店舗内外の明るい雰囲気や接遇、職員の身だしなみなどを審査する「店舗美粧化コンクール」を実施しました。

同コンクールは各支店・店の創意工夫で、親しみやすく安心感があり、来店したくなるような明るい店舗作りを目指し開催しています。

当日は、12名のJA職員と4名の女性部の部員が審査員となり、4班に分かれて巡回しました。

審査員は「店周・外観」、「ATMコーナー」、「店内」、「身だしなみ・接遇」について審査し、上位3支店・店を選出。1位にはキャンペーンなどを効果的にPRし、気持ちの良い挨拶をしていた川津支店が選ばれ、法吉支店、宍道支店と続きました。

審査員を勤めた女性部東出雲支部の森口順子支部長は「それぞれの支店・店で工夫がされていた。明るく挨拶をされる支店には、また来店したくなった」と評価しました。



店内をチェックする審査員

隠岐

## 平成30年度果樹剪定講習会を開催

隠岐地区本部は12月13日（木）に、平成30年度果樹剪定講習会を開催しました。

果樹剪定講習会としては、昨年に引き続き2回目の開催となり、隠岐農産物生産者協議会の会員を中心とした島内の生産者32名が参加しました。

当日は島根県農業技術センターより2名の方に講師として来島いただき、栽培や剪定のポイントなどをわかりやすく説明していただきました。

あいにくの雨の中での開催となりましたが、参加者からは剪定についてはもちろん、普段の管理や実際に被害のあったみかんを例にした病害虫の防除についてなど多くの質問があり、とても有意義な講習会となりました。



やすぎ

## 新たな担い手誕生

やすぎ地区本部は11月21日、やすぎ担い手支援センターで新規就農者実践研修修了式を開催しました。イチゴが特産の安来市で、新たに2人の担い手が誕生しました。式には県や市、指導農業士ら約20人が出席し、研修生2人の修了証書授与と激励を行いました。

研修を修了したのは、大阪府出身の山下勇人さんと神奈川県出身の大森雄介さんで、2人は島根県で農業がしたいと1ターンを選びました。特産であるイチゴを研修品目として、平成28年から市の新規就農研修事業で、指導農業士の池田憲司さんと野島年光さんの下、それぞれ一からイチゴ栽培などを学びました。その後平成29年から今年8月まで、同センターで栽培全般と収穫などの実践研修を3,000時間弱行いました。

同センターは2012年の開設以降、今回の2人を含め11人の修了生を送り出しています。



大森さん（前列中央右）と山下さん（前列中央左）



斐川

## 組合員学びのひろば 「防災を学ぼう！」

斐川地区本部は12月3日、自然災害などの緊急時に対応できるよう「防災を学ぼう!」と題してセミナーを開催しました。始めにJA職員が、家の光記事からアウトドアコードを使用した「防災プレスレット」を紹介説明し、参加者が作りました。続いて、日本赤十字社島根県支部より2名の指導員を講師に招き、風呂敷で作る「リュックサック」、1枚のタオルケットや毛布を利用した「ガウン」、リラックス効果のある「ホットタオル」の作り方など、災害時に役立つアイデアを教わりました。また、貴重な水を有効利用したお米の非常炊き出し方法なども学び、参加者は質問等を交えながら真剣に取り組んでいました。企画した組織広報課の周藤課長が「日々の備えが大切、今回の研修を万が一のときに活か

かしていた  
きたい」  
と総括し、  
防災意識の  
高まったセ  
ミナーとな  
りました。



タオルケットを利用して作った「ガウン」

石見銀山

## 第4回JAしまね石見銀山地区本部 家の光大会

石見銀山地区本部は12月8日、大田市大田町の島根県立男女参画センター「あすてらす」で、第4回JAしまね石見銀山地区本部「家の光大会」を開催しました。

JAしまね石見銀山女性部、JA役職員、一般の家の光愛読者210人が参加し、公演や「みどりをまもる小学生作文コンクール」受賞作文の発表など数々の催しを楽しみました。

公演では、JAしまね出雲女性部塩冶支部「えんまん座」がユニークな寸劇やダンスを披露し、会場を大いに沸かせました。

その後は、JAしまね女性部が主催する「みどりをまもる小学生作文コンクール」で島根県知事賞を受賞した大田市立池田小学校6年の藤原大和さんによる作文の朗読や家の光記事活用体験発表、ふじの会の日本舞踊、川合支部のフォークダンスなどのアトラクションが行われました。



ダンスを披露する女性部川合支部

隠岐  
どうぜん

## 来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月14日（金）に毎年恒例になった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者のみなさまからのご要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備しました。グリーンストア（西ノ島）では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大売出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。有難うございました。



出雲

## タオル1人1枚運動 JAしまね出雲女性部

JAしまね出雲女性部が、「タオル1人1枚運動」で集めたタオル3,500枚を出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設へ寄贈しました。11月29日には贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長と三原洋子河南地区長が「みどりの郷 湖陵」の吉井忠夫施設長にタオルを手渡しました。

部員から自宅で眠っている未使用のタオルを集めて福祉施設に寄贈する運動で、今年初めて企画したものです。発案した高野部長は「多くの部員が参加しやすく、皆さんの役に立てることはないかと考えた。部員の力が集まれば、1人1枚でもすごい枚数になる」と話しました。

JAしまね出雲地区本部の職員や、同地区本部の関連会社にも呼びかけ、7～9月の3ヶ月間で約4,500枚を収集。そのうち1,000枚は、7月の西日本豪雨で被災したJAしまね島根おち地区本部管内への支援として贈りました。



高野部長（右奥）と三原地区長（右手前）から吉井施設長へ贈呈



## 西いわみ

### 購買店舗をリニューアルしました。

西いわみ地区本部は11月30日、益田市美都町の購買店舗「ラーバン」をリニューアルし、「YショップJALしまねラーバン」としてオープンしました。

業務運営は、同町で温泉施設などを運営する(株)エイト(青木正美代表取締役社長)が担い、地域の皆さんの生活を支えます。全農と提携関係にある山崎製パン(株)の地域密着型店舗形態「Yショップ」を活用した事業展開と(株)エイトが掲げる地元経済の活性化と地域住民の生活を守る取り組みとが合致すると考え、「Yショップ」へ業態転換することを決めました。

ヤマザキオリジナル商品に加え、地元生鮮食品や農産物加工品、JAブランド品も従来通り取り揃えています。

オープニングセレモニーでは、青木社長が「新店舗は生活を守る大事な店。この店が末永く発展するようがんばりたい」と抱負を述べました。

田村清己本部長は、「食と農の安全を目指し地域に貢献できる店舗となるよう支援したい」とエールを送りました。



## 島根おおち

### 地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて取扱う『味の絆』の発送が12月4日より始まりました。

この「味の絆」は、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱うことで、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内加工場で製造したきねつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取組む特別栽培米「石見高原ハーブ米こしひかり」、「石見高原ハーブ米きぬむすめ」、石見高原ハーブ米コシヒカリを原料とした純米酒「<sup>ゆうか</sup>邑華」など15種の商品を取扱っています。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取り組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月21日(金)の発送をもって終了となりました。



## 本店

### 女性大会、家の光大会 大盛況!

JAしまねとJAしまね女性部は12月5日、出雲市のラピタウェディングパレスで「第36回JAしまね女性大会ならびに第20回島根県家の光大会」を開催しました。

やすぎ、石見銀山、いわみ中央の3地区本部の愛読者が発表した家の光記事活用体験発表では、「ふみだせ2歩!」と題し発表した、やすぎ地区本部の梶村純子さん<sup>かじむらみずこ</sup>が最優秀賞を受賞しました。介護現場で働く梶村さんは、家の光記事を活用した介護予防に繋がる講座を企画。最初は1人だった参加者も徐々に増え、今では年間教室に発展した様子を発表しました。梶村さんは来年2月に神奈川県横浜市で開催される「第61回全国家の光大会」に県代表として出場します。

各女性部が練習を重ねて発表したグループ活動では、ス Copp 三味線やベリーダンス、ファッションショーなどを披露。最後には隠岐どうぜん女性部による「キンチャモニャ」を会場全員で踊り、盛況のうちに閉会しました。



最優秀賞を受賞した梶村さん

## いわみ中央

### 産直の加工品を増やそう!

JAしまねいわみ中央地区本部産直振興協議会江津支部は11月21日と28日の両日、会員を対象に加工品に関する研修会を開催しました。この研修は、所得向上に向け季節の農産物に付加価値をつけることを目的に、基本的な加工技術を習得するもので、会員は地区本部管内の産直の加工品をもっと増やしていこうと真剣に研修に参加しました。

前半の研修は漬物・ジャム類の加工の基礎的研修で、講師の生田千枝子アドバイザーより、漬物に関しての保存方法や殺菌方法等の説明を聞きました。併せて浜田保健所職員を講師に、表示研修も行いました。後半は実習として、ピクルスやジャムを作り、ビン詰め殺菌方法などを学びました。

会員は、「漬物を出荷する場合、保健所の許可も必要になってきて、より安全安心を求められてきているが、今日は殺菌方法等具体的な指導を受け勉強になった。質の高い商品を出荷するためにも、このような研修の定期的な開催を望む」と話していました。







# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに地域の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中、皆様からいただきましたご厚情に心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月9日には、大田地方を震源とする地震によって、被災された皆様には、改めてお見舞いを申し上げます。一日も早い全面復旧を望んでおります。

また、昨年夏の前半は40度近い気温の日も続き、雨も少なく野菜価格の高騰を招きました。逆に後半には雨に悩まされ、農作業をされる皆さんには負担の大きい年でもありました。

J Aも合併4年目を迎え、事業改革・運営体制整備をはじめとする大きな改革が始まっています。

事業改革では、資材価格の低減・米の買取制度の導入など、統合メリットの発揮と「自己改革実現」に取り組んでまいりました。

J Aが自己改革に取り組むなかで運営体制改革を進めるために、次期改選期には役員体制をスリム化し、方針決定をスピーディーに行うなど経営の効率化を目指します。

事業面では、畜産において県央地区畜産総合センターも順調に利用いただき、子牛価格も高値で推移し、畜産経営に貢献した一年でありました。

政局はTPP問題から、アメリカとの二国間交渉に舞台が移り予断を許さない状況が続いておりますが、地域農業を守っていくためにJ A組織としても最大限の努力をしなければなりません。

このようなか農業をめぐる情勢は、担い手の問題等、課題が山積しております。農地があり、農家の皆さんがそこで農業に取り組んでおられる限り、J Aの使命である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組まなければならないと決意を新たにしております。

本年もJ A事業を通じ役員一丸となって、邁進してまいりますので、より一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

この一年が災害等の無い安心安全な年でありますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



島根県農業協同組合  
石見銀山地区本部

常務理事本部長

山崎 辰次





# 第40回 みどりをまもる小学生作文コンクール

JAしまね女性部が主催する「第40回みどりをまもる小学生作文コンクール」に島根県内46校148点の応募があり、大田市内の小学校からも作文が出品されました。受賞作文を紹介いたします。

**島根県  
知事賞**

「じいちゃんのお米を世界に」

大田市立池田小学校 6年 藤原 大和

今年、ぼくの学校では、「ふるさとの特産品づくり」という学習をしています。池田地域は、米、大豆、野菜、わさび、きのこなどが生産されていますが、数が少ないので、あまり知られていないのだそうです。ぼくたちの手で、それをおいしい特産品に変えて、市や県の人にアピールしていくのがねらいです。

学習のはじめに先生から、

「みんなが、ほかの地域の人にすすめたい、池田のものを食べて、思わず食べたくなるような料理をつくってみよう。」と言われて、ぼくは自まんでできるものをさがしはじめました。最初は、無人市や地域の畑を見て回りました。どれも、池田の生産者さんたちが作っておられる、おいしそうなものばかりでしたが、ぼくはなんとなく決められずにはいませんでした。

そうしたら、先生が、

「大和、じいちゃんのお米があるじゃん。」  
と言われました。ぼくは、毎日食べているじいちゃんのお米を思い出しました。

じいちゃんのお米は、小さいときからずっと食べていたの  
で、いいところがなんなのか、分かりませんでした。でも、  
去年、農業の勉強をしたときに、じいちゃんのお米が、大田  
市や島根県の認証を受けているすごい商品だと知って、おど  
ろきました。

じいちゃんは、お米づくりに三瓶の湧き水をつかい、食べ

る人の気持ちになって薬をほとんどつかわずに育てていま  
した。「じいちゃんのお米を世界に」  
と気がつきました。  
一年中草刈りをし続ける大変な作業なのだそうです。肥料も、  
工場で作られた化学肥料ではなく、じいちゃんのお米のわ  
らを食べた、牧場の牛の糞からできる堆肥を使っています  
のだそうです。ぼくは、そのことを知って、じいちゃんのお  
米が前よりずっと好きになったし、安心・安全なことを自ま  
んでできるようになりました。

ぼくはそのことを思い出して、出品する料理を、じいちゃん  
のお米がたくさん使える「池田ライスバーガー」に決めまし  
た。ライスバーガーにはさむ具も、じいちゃんのお米のわ  
らを食べて育った、三瓶放牧牛にしました。安心・安全でお  
いしいお米を使っていることをアピールして、池田の特産品  
にしたいです。

じいちゃんは、今、新しい挑戦をしようとしています。世  
界中の人に三瓶米のおいし  
さを伝えるために、日本や  
世界の認証もとって二〇二  
〇年、東京オリンピックの  
選手村に三瓶米を届ける  
のだそうです。ぼくの「池  
田ライスバーガー」もいつ  
しよに食べてもらえるとい  
いなと思います。







## ●雇用労働力の定着・育成研修会 職場環境の向上を目指す



基調講演を行う堀部准教授

島根県農業再生協議会担い手部会が事務局を務める島根県農業経営相談所（以下、相談所）は11月28日、JA石見銀山地区本部において、「雇用労働力の定着・育成研修会」を開きました。

島根県畜産課の加地紀之調整監は「経営者に求められる働きやすい職場づくりの一助にしていきたい」と語りました。

研修会では、東京農業大学の堀部篤准教授が「雇用労働力の定着・育成に向けて取り組むべきこと」と題し、基調講演を行いました。

体験発表では、島根県雲南市の(有)木村有機農園の木村晴貞代表取締役が「会社における労務管理」として、自身の経験に基づいた雇用労働のポイントを発表しました。

相談所では、今後も専門家派遣だけではなく、担い手の声に応じ、経営発展に必要な研修会を開催していきます。

## ●大田市ぶどう生産組合出荷反省会 さらなる生産振興を図る

大田市ぶどう生産組合は11月29日、JA石見銀山地区本部 多目的ホールにおいて、平成30年産ぶどう出荷反省会を開催しました。組合員、行政など関係機関を含め、21名が出席しました。同組合の有吉誠志組合長は「来年度も組合員が良質なぶどうを作り、大きな産地にも胸を張れるようにしていきたい」と語りました。

JA石見銀山地区本部の小谷節夫営農経済部長は「美味しまね認証の取得やリースハウス設置など、新たな取り組みが着実に進んでいる」と話しました。

平成30年産は、前年に比べ単価も微増しましたが、今後も作型の検討や技術向上など単価向上に向け、生産振興を図っていきます。

また、組合員の美味しまね認証取得についても取り組みが進んでおり、安全・安心の観点にもさらに力を入れていきます。



開会の挨拶を述べる有吉組合長(右から2人目)

## ●JAしまね石見銀山女性部が 学校給食にさと芋を出荷 12月4日の学校給食に登場



さと芋の皮をむく女性部員

JAしまね石見銀山女性部の有志17人が12月3日、学校給食に出荷するさと芋の皮むきをしました。さと芋はそれぞれ女性部員が持ち寄り、総量約65キロとなりました。

参加した女性部員たちは、大田市学校給食センターの指導のもと、てきぱきと作業をしていきます。持ち寄ったさと芋の皮を丁寧にむいていきました。この日提供したさと芋は12月4日、「さと芋のあんがらめ」として、大田市内の学校給食に登場しました。

同女性部の学校給食への出荷は、平成27年より始まっており、かぼちゃ、ふきなどを学校給食に出荷しています。

## ●農業用廃プラスチック回収 2日間で約11トンの回収

大田市環境にやさしい農業推進協議会農業用プラスチック適正処理部会は12月3日と4日に、農業用廃プラスチックの回収を行いました。

4日の回収会場となった仁摩町では、JA石見銀山地区本部 仁摩支店では、約30名の組合員・利用者が会場を訪れ、廃プラスチックの回収を委託し、ビニールや農業用マルチ、育苗箱など約1トが集まりました。

大田市4会場で回収された廃プラスチックは、2日間で約11トとなりました。

集まった廃プラスチックは、リサイクル用として委託業者で適正に処理されます。

今後もJAでは、廃棄プラスチックや廃棄農薬など、農業用廃棄物の回収を行い、環境に配慮した農業の推進に取り組めます。



持ち込まれた廃プラスチックの計量を行う職員





### ● 農援塾が農機研修会 農作業事故を未然に防ぐ



機械の特徴について説明を受ける受講生

島根県、大田市、JAの三者が運営する「おおだ農援塾（以下、農援塾）」が12月11日に、久手町のJA石見銀山地区本部 農機センターにおいて、農作業安全講習会を開催し、農援塾の産直野菜づくり講座の受講生15名が参加しました。

近年の農作業による死亡事故は、全国で毎年約300〜400件の間で推移しており、減少に歯止めがかからないのが現状です。

当日は、機械メーカーから農機の特徴やマニュアルの確認、事故の事例などの説明を受けました。

講義では「一日約1件のペースで農作業事故は発生している。安全のための知識と点検、作業の服装等の準備を怠らず、安全に機械を使用して欲しい」と注意が促されました。

その他、草刈り機使用の際の防護マスクや膝当ての着用など、普段では見落しがちな注意点が説明されました。

参加した受講生は「これから農機を使う上で参考になった。事故に気を付けながら使用したい」と語りました。

### ● 投資信託研修了式 JAでも投資信託が可能に

12月11日、JA石見銀山地区本部において、信用渉外担当の投資信託研修了式が行われました。

この研修は、JAが投資信託事業を行うことに先駆け、インストラクターとの同行訪問を約2ヶ月にわたり行いました。

投資信託とは、利用者の資金を運用の専門家（ファンドマネジャー）が株や債券などの複数の商品に投資・運用する金融商品のことです。

同地区本部の岩佐副本部長は「担当者は前向きに研修に取り組んでおり、成長を実感している。今後も頑張りたい」と担当者を激励しました。

研修を受けた担当者は「ニーズにあった声かけを行っていききたい」と話しました。



修了証を受け取る担当者

### ● ご来店感謝デー 1年間の感謝を込めて



大田東支店でのサービス「ゆで卵」を手取る来店者

JA石見銀山地区本部は12月14日、管内の支店で、「ご来店感謝デー」を開きました。支店内をサンタクロースやツリーなど、クリスマスの装飾で彩りました。

来店客には、記念品として「こめたまご」を先着順にプレゼントした他、抽選での賞品も手渡されました。

その他、大田東支店では、来店客へ「ゆで卵」を提供するなど、管内支店でそれぞれ趣向を凝らしたサービスで来店客をもてなしました。

「ご来店感謝デー」は、来店客へ1年間の感謝を込めて、毎年開いています。今後もJAでは、組合員への満足度向上をはかるため、窓口サービスの向上に努めます。

### ● 「菜根館」ソバ打ち 本格的なソバ打ちを学ぶ

JA石見銀山地区本部が運営するシニア講座「菜根館」が12月14日、今年8回目の講座を開きました。参加者はJAしまね石見銀山女性部長久支部の3名を講師に、大田産のソバ粉を使った本格的なソバ打ちを学びました。

参加者は5グループに分かれ、ソバ粉を練り、薄く伸ばし、切る作業を体験しました。

ソバ打ち講座は、参加者や同地区本部が「大田産のソバ粉を使って、手打ちソバで年越しを迎えたい」という思いから実現。参加者からも好評で、「菜根館」の恒例講座として定着しつつあります。



ソバの打ち方を学ぶ「菜根館」受講者





# わ い わ い ひ ろ ば

このページは皆様のお便りが頼りです。

お便りお待ちしております♪

## ● 読者コーナー

■「健康散歩」は、身体のためによく読みます。ウォーキングは秋～冬にかけて、走っています。最近、寺の階段等を使い、後ろ上がりで階段上がりです。  
(Yさん)

■ぎんざん市場で焼いたいもが販売されており、この時期、立ち寄った折には買い求めて、美味しくいただいています。あつあつがいいです。  
(Tさん)

■我が家は猪年には縁がありました、亡くなった姑、私、息子の嫁3人とも、猪年なんですよ。なので、今年は年女が一家に2人います。  
(Yさん)

■「星占い」を楽しみにしています。双子座のところを読んでいると、幸運の食べ物バナナ。よく見たらバナナでした。普段は食べることがほとんどないのですが、バナナを食べて良い1年をスタートさせたいです。  
(Iさん)

■すいせんの里には、よく行きます。新鮮な野菜、お肉、お魚、花など買いやすい価格で、また安心して買えます。福波地区にはお店がないので、助かっています。(Uさん)

■12月号の表紙を見て思いました。私たちの子ども頃は、どこの家庭でも牛を飼っていました。ベコ(小さい頃)のときは散歩に連れて行ったり、背中毛づくろいなどをしました。生まれてくるときを目の当たりにしていたので、できたと思います。売られていく日(共進会)は寂しいときもありました。頭を撫でた頃もあり、この絵の子どもたちを見て思い出しました。  
(Hさん)

担あけましておめでとうございます。

今年も「JAしまねびより」をよろしくお願いいたします。平成最後のお正月はどうでしたか？

年末から風が強く、テレビの天気予報は大寒波を連呼していました。

去年の12月には案の定、風邪をひいてしまい、鼻水やくしゃみと戦いながら業務にあたる日々でした。

寒さもおさまらない日々ですが、暦の上では春はもうすぐです。

お互いに気をつけてこの冬を乗り切りたいものです。







# 医療法人 郷原医院 健康豆知識



院長 福田 亮先生

## 医学的根拠より近所のおばさん？

医学的根拠に基づいて処方したのに「飲んでいない」と言われ、理由を聞くと「近所の誰誰さんが、そんなものは飲まない方が良かったのかと聞くと」「新聞やTVで宣伝している健康食品を勧められたので買った」という洒落にならない話を結構、経験します。近所のおばさん恐るべしで、医者のお出暮はありません。飲んで良いかと相談される方もありますが、効果があるかどうか、さっぱり分かりません。通常、こういうサプリや健康関連の『薬もどき』は、法律上は薬ではなく、菓子などの食品の扱いになっています。薬なら効果に関して過大なことを書くこと犯罪になります。何せ食品(お菓子)なら何でも書けます。実際、およそ関連が無いと思われるような論理の飛躍を通り越して、夢の薬のようなことを書いても罪になりません。また、そういうものを信じる人が多いのも事実。だから、TVショッピングなどは永遠

に不滅です。人間の体は、上手く食物から多くの物質を抜きとるシステムを作っているのです。サプリ単品では却って吸収しにくい場合もあります。たとえば、ブドウ糖はビタミンCと一緒に細胞に取り込まれるとか。だから、幅広く物を食べないと、単品では思うように吸収しないことが多いのです。しかし、能書きはその成分の重要性を強調するだけで、そういうことは、書いてはありませぬ。また、安かろう悪かろうという心理を突いて、結構な値段が付いています。2つ並べると、高い方を買う人が多いのも事実。やはり人間は、心の中は舌切すずめの世界でしょうか。世の中和だと妙に納得です。開業医だったお袋は、プロポリスという物質を長らく飲んでいて、私にも勧めていました。とても苦い味ですが、「非常に効果がある」と言っておりました。私も1年位飲んでしまいました。お袋も一おばさんには違いありません。

# 子牛市場

12月12日

## 石見銀山地区本部管内 12月子牛市場ランキング ベスト5 (本人取り除く)

▶今年も、良質な和牛を育てています。



**又キ最高**  
三瓶町志学  
高田 駿さん

▶今年も社員一同、頑張りますので、御指導よろしくお願ひします。



**メス最高**  
水上町  
(株)大田原農場  
代表取締役  
灘尾 哲明さん

【又キ】

| 順位 | 地区 | 氏名       | 体重  | 日齢  | 父    | 祖父  | 祖祖父 |
|----|----|----------|-----|-----|------|-----|-----|
| 1  | 志学 | 高田 雅晴    | 323 | 265 | 美国桜  | 勝忠平 | 安福久 |
| 2  | 志学 | 木下 崇     | 316 | 244 | 美津照重 | 安茂勝 | 平糸勝 |
| 3  | 水上 | (株)大田原農場 | 321 | 284 | 幸紀雄  | 安福久 | 金幸  |
| 4  | 久手 | 川上 泉     | 315 | 264 | 美津照重 | 平忠勝 | 茂重桜 |
| 5  | 山口 | 大国 裕紀    | 295 | 285 | 幸紀雄  | 隆之国 | 平茂勝 |

【メス】

| 順位 | 地区 | 氏名       | 体重  | 日齢  | 父   | 祖父  | 祖祖父 |
|----|----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1  | 水上 | (株)大田原農場 | 282 | 283 | 安福久 | 勝忠平 | 金幸  |
| 2  | 志学 | 高田 雅晴    | 328 | 271 | 美国桜 | 勝忠平 | 安福久 |
| 3  | 井田 | 奥田 康延    | 274 | 258 | 久茂福 | 百合茂 | 安福久 |
| 4  | 水上 | (株)大田原農場 | 257 | 298 | 安福久 | 勝忠平 | 福之国 |
|    | 水上 | (株)大田原農場 | 326 | 297 | 勝忠平 | 安福久 | 百合茂 |

## 12月子牛市場の成績表

(本人取り含む・金額は税込)

| 種別 | 市場 | 取引頭数 | 最高価格      | 最低価格    | 平均価格    | 対前月     | 対前年同月    | 平均体重 | 平均日齢 |
|----|----|------|-----------|---------|---------|---------|----------|------|------|
| メス | 管内 | 17   | 1,136,160 | 547,560 | 831,600 | 110,732 | 195,336  | 283  | 275  |
|    | 中央 | 126  | 1,136,160 | 433,080 | 701,666 | 24,706  | 26,226   | 275  | 274  |
|    | 県  | 126  | 1,136,160 | 433,080 | 701,666 | 42,298  | 26,226   | 275  | 274  |
| 又キ | 管内 | 29   | 976,320   | 438,480 | 729,037 | -29,968 | -113,177 | 287  | 273  |
|    | 中央 | 155  | 976,320   | 438,480 | 768,605 | -5,060  | -61,154  | 295  | 266  |
|    | 県  | 155  | 976,320   | 438,480 | 768,605 | 1,081   | -61,154  | 295  | 266  |



## タテのカギ



- ① 佐々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- ④ うわさが広がる際につくことも
- ⑦ 鉄道のレールの下に並べます
- ⑨ 人数を数えるときに使う言葉
- ⑩ パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- ⑪ 子羊の肉のこと
- ⑬ 3.14159……と続く円周一
- ⑮ 道端のこと。—— 駐車
- ⑰ 寝不足で目の下にできる人もいます
- ⑱ 小説家・尾崎紅葉の代表作「—— 一夜叉」
- ⑳ ショートケーキによく似合う赤い果実
- ㉑ マンションの—— 人さんにあいさつをして出掛けた

## ヨコのカギ



- ① 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- ② マージャンをするとき囲みます
- ③ 劇場の舞台や花道の地下にあります
- ⑤ 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- ⑥ 起立！ ——！ 着席！
- ⑧ バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- ⑫ 足利尊氏が開いた—— 幕府
- ⑭ 片時もそばを離れません
- ⑯ 漢字で書くと浮塵子。稲の害虫です
- ⑰ 地面につちなどで打ち込みます
- ⑲ カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

|   |   |    |    |    |    |    |
|---|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 7 |    | 11 |    | 17 | 20 |
|   |   | A  |    |    |    |    |
| 2 |   |    | 12 | 15 |    |    |
|   |   |    |    |    | C  |    |
| 3 |   | 10 |    |    |    |    |
|   | 8 |    |    |    | 18 |    |
| 4 |   |    |    | 16 |    | 21 |
| 5 | 9 |    | 13 |    | 19 |    |
|   |   |    |    |    |    | D  |
| 6 |   |    | 14 |    |    |    |

答え  
A B C D

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒694-0041 大田市長久町長久ハ56-1  
JAしまね 石見銀山地区本部 企画推進課 「クイズ」係  
平成31年2月5日（火）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「コママワシ」

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| フ | ク | ワ | ラ | イ | ス |
| ス | ウ | ジ | ケ | シ | キ |
| マ |   | ユ | キ | ヤ | マ |
|   | サ | ツ | マ | イ | モ |
| コ | ト | ツ | ノ | マ |   |
| コ | ウ | カ | シ | ヤ | ル |
|   |   | イ | ニ | シ | ヤ |

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

## けんこうさんぽ 健康散歩 JA島根厚生連

## 春の七草

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

お正月はいかがでしたか？おせちにお雑煮、色々食べたか？飲んだり胃腸もお疲れ気味なのではありませんか。今回はそんな胃腸のお助けマン「七草粥」についてお話しします。

「春の七草」を「1月7日朝に七草粥を食べる」と知っていても、由来や効果などまでは知らない人が多いのではないのでしょうか。「七草」とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを指します。これら七草が入ったお粥を食べると無病息災を願う、古くは平安時代から伝わる習慣です。清少納言の「枕草子」には、「七日の日の若菜を、六日、人の持て来……」という一文があります。

正月6日から7日にかけての行事で6日の夜はヒイラギなどの刺のある木の枝や、蟹のはさみの様な尖ったものを戸口に挟んで邪霊を払い、七草叩きといって、唱えごとをしなから七草を包丁でたたき、粥を炊き込みます。7日の朝、歳神に供えてから家族で食べると万病を払うとされています。

また、七草粥は日常の食生活に戻るひとつの区切りとなるほか、新年のちこそうで弱った胃をいたわり、野菜が乏しい冬にビタミン、ミネラルの豊富な七草で栄養のバランスを整えるという古人の知恵があります。

**【七草の効用】**  
セリ：免疫力を高め風邪やインフルエンザを予防するビタミンA。疲労回復に効くビタミンB群。疲労回復を手助けするビタミンC。加えて鉄分も多く含まれているため、冷え性・貧血の症状を和らげます。  
ナズナ（へんぺん草）：セリ同様ビタミンA、B群、C、カリウム、鉄が含まれている他、カルシウムや亜鉛なども含まれています。  
ゴギョウ（ハハコグサ）：実は詳しい栄養成分が分かっていないキク科の植物。しかし、咳やのどの痛みを和らげる作用があると言われています。  
ハコベラ：タンパク質が比較的多く含まれ、ミネラルをはじめとした栄養に富んでいます。また、利尿作用のあるサポニン、止血作用のあるクマリンが含まれています。  
ホトケノザ：高血圧の予防・胃腸の働きを整えるとされていますが、栄養、効能はあまり知られていません。  
スズナ（かぶ）：胃腸の消化を助けるアミラーゼ、免疫力を高めるビタミンC、むくみを解消するカリウムが含まれます。  
スズシロ（大根）：スズナ同様、胃腸の調子を整えるアミラーゼ、ビタミンCが豊富で、肌を若々しく保つ効果も。また、食物繊維も豊富で便秘の解消に効果があります。

年々、野草が生えているところは少なくなり、ホトケノザやゴギョウを見る機会も少なくなりました。しかし、スズナはカブ、スズシロは大根のことですから、これらはお馴染みの食材ですね。この時期はスーパーでも七草セットが売られています。無理に七草全部でなくても、身近なタイコン、カブなどでも良いです。自然に満ちた、体に優しい食材を毎日の食事に取り入れて、寒い日々を乗り越えましょう。



組合員の皆様へ

# 備えて安心。いつでも便利。クミアイ家庭薬です。

## クミアイ 家庭薬 のしくみ

- 1 まずは薬箱をご自宅に  
いつでもご利用可能な薬屋さんの完成です。
- 2 定期的に配置員が訪問します  
知識豊富な配置員が丁寧に対応いたします。補充とご精算もこの時に。
- 3 お薬は使った分だけ後払い  
お薬の代金はご使用分のみのご精算です。他に代金は発生しません。
- 4 配置する内容は自由に選べます  
70種類以上の品揃えの中から、ライフスタイルに合ったものを。

— 担当の配置員が配置箱の設置と薬の補充に伺います。 —

シニア世代の  
アクティブ生活を  
おいしくサポート!

Kyoyaku 毎日おいしく  
**グルコサミン**

500ml(約16日分) **1,800円(税抜)**



お好みで  
うすめて  
飲む



お問い合わせ先

JAグループ 協同薬品工業株式会社 島根営業所

〒699-0641 島根県出雲市斐川町美南1655  
TEL 0853-73-7430



JALまねは、出産・育児を応援します!

JALまね 出産・育児コミュニティ

JALまね

# こども 倶楽部



お申し込みは  
こちらからから



入会金  
年会費  
無料

## 平成30年度 会員募集中。

対象 島根県在住でご妊娠中の方

会員期間 ご入会日からお子様の1歳の誕生日末日まで

募集期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

★下記、特典01から03については最寄りのJA支店よりご自宅までお届けします。  
(郵送での対応は行っておりません。)

特典01



ご加入時に  
**オリジナル  
限定品プレゼント**

特典02



ご加入から  
ご出産まで  
**たまごクラブ  
お届け**

特典03



ご出産時に  
**記念品  
プレゼント**

特典04



各種 **お役立ち  
情報お届け**

- 会員専用アプリによる情報提供
- 子育て・地域に関する、お得で楽しい情報を「こども倶楽部通信」でお届けします。

特典05



お子様が  
満1歳になるまで  
ワクワクする  
**イベントご招待**

※特典03の内容は、各地区本部により異なります。詳しくは、該当のJALまね地区本部窓口にお問い合わせください。



卒業  
記念

J Aしまね石見銀山地区本部

# 東京夢紀行

JAの定期積金で行く

東京ディズニーランド 3日間

わくわく  
楽しい  
東京の旅♪

旅行実施日 平成31年 3月26日(火)～28日(木)

旅行代金 **84,800円** (税込) (JAしまね石見銀山地区本部発着起点)

\*旅行代金は定期積金の満期金でご精算させていただきます。但し、旅行申込金3,000円は申込時にお払い込み下さい。満期金での精算額は81,800円となります。  
\*宿泊は洋室3名1室利用となります。

申込締切日 平成31年 2月8日(金) (定員になり次第締切ります)

募集人数 100名 (最少催行人員80名)

参加資格 小学校6年生 ※お一人様からお申込いただけます。

添乗員 同行いたします

申込金: 3,000円 (旅行代金に充当します)

利用交通機関: 日本航空・JR 普通車指定席

食事条件: 朝食2回、昼食1回、夕食3回(弁当含む)

利用ホテル: ホテルモントレ半蔵門

利用予定バス会社: (出雲空港送り、岡山駅迎え) 一畑バス (現地) ケイエム観光バス

| 日 | 行 程                                                                                                                                             | ◎入場観光 | ○下車観光 | △車窓観光 | 食事                     | 宿泊          |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|------------------------|-------------|
| 1 | J Aしまね石見銀山地区本部管内各地<br>6:00~7:00<br>出雲縁結び空港 → 羽田空港 (バス)<br>9:00~10:00<br>八景島シーパラダイス (昼食・自由席)<br>10:30~11:30<br>東京スカイツリー(展望デッキ) = ホテル(泊)<br>18:00 |       |       |       | 朝: X<br>昼: 自由<br>夕: O  | 東京都内 (洋室利用) |
| 2 | ホテル = 東京ディズニーランド (入場券・自由席)<br>8:00<br>= 都内(夕食) = ホテル(泊)<br>19:30                                                                                |       |       |       | 朝: O<br>昼: 自由<br>夕: O  | 東京都内 (洋室利用) |
| 3 | ホテル = 上野動物園 = 東京駅 (のぞみ) = 岡山駅<br>8:30 貸切バス<br>12:30~13:30<br>JAしまね石見銀山地区本部管内各地<br>21:00~22:00                                                   |       |       |       | 朝: O<br>昼: 弁当<br>夕: 弁当 |             |

交通機関等の都合により一部日程が変更になる場合があります。後日、改めて集合・解散地(および時刻)をお知らせ致します。

■この旅行に関するお申し込み、お問い合わせは

観光庁長官登録旅行業第939号  
株式会社 農協観光代理業  
JAしまね石見銀山旅行センター  
島根県知事登録旅行業者代理店第7号 F 664-0041 島根県大田市東久米町1-156-1  
☎ (0854) 82-3501 総合旅行業務取扱管理者 神田 真哉

■旅行企画・実施

NOKYO TOURIST CORPORATION  
株式会社 農協観光 出雲営業支店  
一般社団法人日本旅行業協会正会員  
観光庁長官登録旅行業第939号  
島根県知事登録旅行業者代理店第7号  
島根県旅行業務取扱管理者 三宅 和昭  
☎ (0853) 21-3305 e ホットライン受付

JAとのお取り引きは  
これから  
というお客様も  
お気軽にご来店ください!

**Go! Go!**  
JAしまね **休日ローン**  
相談会  
2019. 1.26 ±  
9:00-15:00

ローンに関するご相談を  
いただいた方へ

サザエさんバスタオル  
プレゼント

品切れの場合は他の粗品に  
かえさせていただきます。  
写真はイメージです。



■会場■ JA石見銀山地区本部

■お問い合わせ■ JA融資課 ☎0854-84-9053

子育て応援宣言  
KOSODATE OHEN SENGEN

住宅ローン

1 子育て応援サービス  
お子様お一人につき当初特約期間の  
適用金利を年0.1%引下げいたします。  
※最大年0.3%の金利引下げを行います。  
※ご返済開始日より2年以上経過または満18歳となった最初の3月31日を  
過ぎるまでのお子様を対象となります。  
※当初特約期間中にご返済の滞りなどが発生した場合には、本サービスの適用を中止します。

引下げ

2 金利に上限を設定!  
ご安心ください!  
変動金利に上限を  
設定します!

15年後

3 他金融機関からお借換え  
されると年0.1%金利引下げ

他の金融機関でご利用中の住宅ローンを  
JAにお借換えされる場合は、当初特約期間の  
適用金利を年0.1%引下げいたします。  
※各種、金利引き下げサービス併用の場合、引き下げ幅は最大年0.3%となります。  
※JA住宅ローンのご利用に際しては、組合員加入のための出資が必要となります。  
※印税が別途必要となります。

年0.1%  
引下げ

教育ローン マイカーローン  
その他のローンについても  
ご相談承ります。

J Aしまね

JAバンクしまね

検索



詳しい情報はインターネットからも調べいただけます。





ぎんぎんテレビで放送♪

# 地サン地ショー

Chisun Chishow Cooking

## クッキング

### 今月の料理

## 「キャベツをたっぷり使ったサラダとコンソメスープ」

### 今月の先生

JAしまね石見銀山青年連盟  
内田 洋平さん(左)  
内田 卓志さん(右)



### ①キャベツと韓国海苔のナムル風サラダ

#### <材料(2人分)>

キャベツ……………3~4枚  
韓国海苔(小さいパック) ……1パック  
塩……………小さじ1/4  
ごま油……………小さじ1  
塩昆布・白ごま……………適量

#### <作り方>

- ① キャベツは芯を切り取り、一口大に切り、ボウルに入れる。
- ② ボウルに入れたら塩をふり、手で揉み込み、しんなりするまで10分間おく。
- ③ キャベツの水気をしっかり取り、ボウルに戻す。
- ④ ごま油を加えて混ぜ、韓国海苔をちぎって軽く和える。
- ⑤ 塩昆布と白ごまをお好みで和えて、出来上がり。

### ②キャベツ具沢山コンソメスープ

#### <材料(4~5人分)>

|                            |      |             |        |
|----------------------------|------|-------------|--------|
| キャベツ……………                  | 150g | 人参(中)……………  | 1/2本   |
| じゃがいも(中)……………              | 2個   | 玉ねぎ(中)…………… | 1/2個   |
| ウィンナー……………                 | 4本   | しめじ……………    | 1/3パック |
| バター……………                   | 小さじ2 | 水……………      | 700ml  |
| コンソメキューブ……………              | 2個   | 醤油……………     | 小さじ1   |
| 塩・ブラックペッパー・乾燥パセリ(お好み)…………… |      |             | 適量     |

#### <作り方>

- ① じゃがいも、人参は皮をむき、5mm前後のいちょう切りにする。玉ねぎ、ウィンナーは2~3mm幅に切る。しめじは石付きを取り、小分けにする。キャベツは洗って、2~3cm角に切る。
- ② 鍋に弱火でバターを熱し、①の玉ねぎ、ウィンナーを入れ、軽く炒める。次に、人参、じゃがいも、しめじを加え、軽く炒め混ぜ合わせる。
- ③ キャベツを加え、軽く炒め混ぜ合わせたら、水、コンソメキューブを加え、強火で煮立たせる。
- ④ 沸騰したら中火にし、灰汁を取り除く。灰汁が取れたら蓋をして、弱火で具材が柔らかくなるまで煮込む。
- ⑤ 具材が柔らかくなったなら、塩、ブラックペッパー、醤油を加え、味を調える。
- ⑥ 器によそい、お好みで乾燥パセリを散らして、出来上がり。

提供：石見銀山産直出荷者協議会

## 年金無料相談

複雑な年金手続きのお手伝いをいたします。  
どなたでもお気軽にご来店ください。

2月 3日(日) JA温泉津支店 ☎0855-65-2235

2月 17日(日) JA仁摩支店 ☎0854-88-2120

※時間はいずれも9:00~15:00

## JA グリーンおおだ

### 2月は、休まず営業いたします。

- ・毎月5のつく日はポイント5倍!
- ・毎月0のつく日は玉子が半額!
- ・毎週火曜日は火曜均一セール!
- ・毎週木曜日は午後4時から夕方市!



## 和風もちピザ



もちもちの食感のおもちをピザ生地代わりにします。佃煮の塩分とチーズの塩分で味付けはしなくてもおいしく食べられます。フライパンでもいいけど魚焼きグリルでもできます。佃煮は生姜、しじみなど好きな佃煮でどうぞ。

### ●材料 (2人分)

|                   |      |       |        |
|-------------------|------|-------|--------|
| もち                | 4個   | ピザチーズ | 適量     |
| 玉葱                | 1/4個 | サラダ油  | 大さじ1/2 |
| 佃煮 (生姜、しじみなど好みの物) |      | もみのり  | 適量     |
|                   | 大さじ2 |       |        |

### ●作り方

- ①フライパンに油を入れ熱くなったら餅を並べ、弱火でフタをして焼く。
- ②ふっくらと膨れて焼けたら裏返し、両面を焼く。
- ③フライ返しで押し、もちを広げる。
- ④玉ねぎスライス、佃煮、ピザチーズを乗せフタをして3~5分蒸し焼きにする。
- ⑤もみのりを乗せる。

## かまぼこチヂミ



お正月も終わり、お節の蒲鉾が残っていませんか。海鮮で作るのがおいしい、韓国料理のチヂミ。新鮮な魚から作られたかまぼこのチヂミおいしいですよ。

### ●材料

|               |      |     |       |
|---------------|------|-----|-------|
| かまぼこ (お正月の残り) | 適量   | 卵   | 1個    |
| にら            | 1束   | 水   | 120cc |
| 人参            | 1/3本 | ごま油 | 大さじ1  |
| 小麦粉           | 100g | ポン酢 | 適量    |
| 片栗粉           | 40g  |     |       |

### ●作り方

- ①かまぼこは5mmぐらいにスライスする。にらは、3cmの長さ切る。人参は千切りにする。
- ②ボールに卵、水、小麦粉、片栗粉を入れ混ぜ、ダマがなくなったら、かまぼこ、人参、にらを入れ混ぜる。
- ③フライパンを熱くして、ごま油を入れ②の生地を流し入れ焼く。両面を焼いたら、ポン酢をつけていただく (②の中にキムチを入れ焼いてもおいしい)。



### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町の太鼓谷稲成神社です。日本五大稲荷のひとつに数えられているこの神社では、全国でも珍しく「いなり」を「稲成」と表記します。「成」には、津和野藩主亀井矩貞公の思いにより、願い事が叶うようにとの意味が込められていると言われていました。多くの参拝者が訪れ、特に正月は毎年数十万人の参拝客で賑わいます。

### 編集後記

明けましておめでとうございます。編集一同まだまだ正月ボケが抜けきっていませんが、様々な情報をお届けする「JAしまねびより」を本年もよろしくお願いたします。今月の特集は、お正月らしく「榎」を取材していますので是非ご覧ください。(和)

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

